



のとじま水族館「ジンベイザメ」



第4回こども山：七尾駅前



和倉温泉総湯前



バーナーワークデモンストレーション 能登島ガラス美術館



「でか山」七尾駅前参上!



青柏祭でか山が駅前に!

ゴールデンウィーク特集 ななおのまちに人集う!

5月3日からの3日間で15万人が七尾にくる

交流体感都市を掲げる七尾市では、東日本大震災の影響から、和倉温泉の旅館などのキャンセルが相次ぎ、交流人口の減少は記録的な状況に陥った。

しかし、ゴールデンウィークに入り一転。天候にも恵まれ、和倉温泉『湯の香 潮の香 総湯館』のオープンや『花嫁のれん展』、『のとじま水族館』や『青柏祭』など、多くの人（5月3日～5日で15万人）でにぎわった。

また、今年は初めて『でか山』が七尾駅前まで引かれ、よさこいや出店などで駅前も多くの人でにぎわった。

これからの七尾は、毎週のようにどこかで祭りやイベントなどが催され、『交流体感都市七尾』は、お・も・し・ろ・い!



花嫁道中：一本杉通り



4月21日(木)：石崎小学校

『石崎っ子見守り隊』
子どもたちの安全のために

石崎地区には、『石崎っ子見守り隊』という団体がある。この団体は、登下校の際、子どもたちの様子を見ると同時にあいさつを行ったり、安全指導や危険箇所の確認などをしたり、安全確保のみならず、子どもたちと地域とのコミュニケーション作りに一役買っている。

この日は、対面式と集団下校訓練が行われ、隊員と子どもたちは歩きながら学校での出来事や危険箇所などを話しながら下校した。



4月17日(日)：和倉温泉観光会館

東北地方太平洋沖地震復興支援イベント
『届け和倉の熱き想い』

『東北地方の被災者に私たちの熱き想いを届けたい』を合言葉に、『よさこい』『太鼓』『チアダンス』などの団体が和倉に集まり、チャリティーイベントを行った。主催した能登よさこい連絡協議会赤坂明会長は「私たちができることは小さいことかもしれないけど、元気と勇気を東北地方まで届けたい」と熱く語った。このイベントで集まった義援金(215,749円)は、4月26日に七尾市役所に寄付され、日本赤十字社に届けられた。



5月13日(金)：恵寿総合病院

プチ・ナースふれあい体験
小さな看護師さんたち

近代看護教育の生みの親であるフローレンス・ナイチンゲールの誕生日(5月12日)にちなみ、その日を中心に『看護週間』が設けられている。

恵寿総合病院では、看護師が袖ヶ江保育園児19人に看護体験を実施。園児はナースキャップを着け、聴診器で心臓の音を聞いてみたり、人形を使っておもつの交換をしたりした。体験した渡辺由紀乃ちゃんは「聴診器が楽しい。ドキッ、ドキッとなっていた」と興味津々で繰り返し聞いていた。



4月22日(金)：七尾市役所周辺

街を美しく支隊結団式
街を美しく支隊の隊員です!

『街を美しく支隊』は、七尾みなと保育園と東みなと保育園の園児と職員で活動している。

結団式では、園児代表中江田和実ちゃんと川尻ちハルちゃんが「これはバザーの収益金です。地震で困っている人たちのために使ってください」と封筒に入った義援金(27,560円)を武元市長に手渡した。その後、市役所周辺で清掃作業を行ったが、「あっ、虫さん!」と道端にいた虫が気に入り、ゴミよりも虫に気を取られる子どもらしい一面が見られた。

100歳(瀧平シケさん)と105歳(土倉つやさん)、誕生日おめでとうございます。



瀧平シケさん

今回、100歳以上の誕生日を迎えた人は、100歳の誕生日を迎えた瀧平シケさん(古府町)と105歳の誕生日を迎えた土倉つやさん(石崎町)。

瀧平さんは、心臓が弱いにもかかわらず自宅で生活しているので、医者からは「この歳でこんなに元気な人は珍しい」と驚かされている。

土倉さんは、七尾市で2番目の長寿。鶴友苑に入所し、誕生会に集まった約40人の入所者や職員から『花笠音頭』や『黒田節』を歌ってもらい、リズムにうなずきながら喜んでいた。

～瀧平さんと土倉さんの長生きの秘訣～

若い頃からたくさん旅行をしたこと。(瀧平さん)

近くのお寺へ朝昼晩と仏様にお参りをしたこと。(土倉さん)



土倉つやさん